

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	2019年ラグビーワールドカップ普及啓発等事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・未定		担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 杉浦 久弘		
会計区分	一般会計		政策・施策名	スポーツの振興 XII-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功に向けて、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」や「学外クラブ」などを活用して、ラグビーの促進等普及啓発に係る事業を展開する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	ラグビーワールドカップが開催される2019年を視野に、継続してラグビーの普及啓発を行える団体に以下の事業を委託する。 1. 「タグラグビー」を活用して、障害者を含む全国の小学生年代を対象にラグビーの普及・拡大を図る。 2. 平日の放課後もラグビーが出来る環境(学外クラブ)を整備し、中学生等の競技者の拡大を図る。 3. 女性指導者や審判及び地域コミュニティにおけるリーダー等を養成するため講習会等を開催する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			15	15	15	
		繰越し等			0			
		計			15	15	15	
	執行額				13			
	執行率(%)				86.7%			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (31年度)
	タグラグビーの実施小学校の割合		成果実績	%			50.8	100
			達成度	%			50.8	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	学外クラブ活動回数		活動実績 (当初見込み)	回			12 (12)	— (70)
単位当たり コスト	学外クラブ活動1回当たりのコスト(81,483円/1回)		算出根拠	単位当たりコスト=放課後ラグビープログラムモデル事業決算額(円) 977,800円/回数(12回)				
	パンフレット作成1冊当たりのコスト(33円/1冊)			単位当たりコスト=リーフレット印刷決算額(円)2,310,000円/冊数 (70,000冊)				
	リーフレット作成1冊当たりのコスト(28.2円/1冊)			単位当たりコスト=パンフレット印刷決算額(円)1,974,000円/冊数 (70,000回)				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	スポーツ振興事業委託費		15百万円	15百万円				
	計		15百万円	15百万円				

事業所管部局による点検														
項目			評価	評価に関する説明										
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、スポーツ基本計画の「オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等」においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業であり、また、スポーツを通じた国際的な交流や貢献は、国際相互理解を促進し、国際平和に大きく貢献するものであり、国際競技大会等の招致・開催を進めることで、こうした国際的な交流の機会を拡充していくことは、広く国民のニーズがある事業である。なお、2019年ラグビーワールドカップを円滑に開催するためには、関係省庁・地方公共団体・スポーツ界等の連携を図りながら事業を進めることが重要であることから、国が総合的に推進していく必要がある。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○											
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○											
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。 なお、委託事業の契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っているところである。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○											
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○											
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○											
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○											
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—											
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	民間団体に対する委託事業として実施しているが、効果的に普及・啓発を図るためにも、学校等と連携し、効果的かつ実効性の高い運用を行っているところ。 活動実績については、見込みに見合ったものとなっている。										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○											
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—											
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名											
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功を目的に、ラグビーの促進等普及啓発に係る事業を展開するものであり、タグラグビー実施小学校の割合増加等に向けて、事業の効率性をさらに高めつつ、継続していく必要がある。 ・予算の執行状況に係る点検方法については、委託先団体から提出される委託事業完了報告書、証拠書類(賃金出納簿、見積書、納品書、請求書、領収書等)により適切な執行がなされているか、検査を行った。 ・活動実績に係る点検方法については、委託先団体から提出される委託事業完了報告書や委託先団体からのヒアリング等により、事業の実施内容や目標の達成度合いについて確認している。 													
外部有識者の所見														
<p>本事業においては、小学校へのタグラグビーの普及や学外での放課後ラグビーモデル事業等により、一定の成果が上がっていると認められる。しかしながら、より効果の高い事業とするため、学校内外へのラグビー競技普及策の内容や質の向上を図るといった改善を検討すべきである。</p>														
行政事業レビュー推進チームの所見														
事業内容の改善	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点:この事業は、2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功に向けて、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」や「学外ラグビー」などを活用し、ラグビーの促進等普及啓発に係る事業を展開するものであり、契約・執行手続の観点から検証を行った。 2. 所見:この事業は、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。 													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況														
執行等改善	<p>本事業については、平成25年度執行における公募では、5者からの応募があったところであり、契約の競争性は改善が図られている。また、地域における学校内外へのラグビー競技の普及策の内容や質の向上を図るため、平成25年度事業においては、ラグビー先進国に倣い、リージョナルディベロップメントオフィサー(地域普及活動担当者)の育成に取り組むこととしている。</p>													
備考														
<p>スポーツ基本計画について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</p>														
関連する過去のレビューシートの事業番号														
	平成22年		平成23年		平成24年									
					0046									

※平成24年度実績を記入。

文部科学省
13百万円

2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功に向けて、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」や「学外クラブ」などを活用して、ラグビーの促進等普及啓発に係る事業を展開する。



【公募・委託】

A. (財)日本ラグビーフットボール協会
13百万円

障害者を含む全国の小学生年代を対象に「タグラグビー」を活用したラグビーの普及・拡大、平日の放課後もラグビーが出来る環境(学外クラブ)を整備し、中学生等の競技者の拡大を図る。また、女性の指導者や審判及び地域コミュニティにおけるリーダー等を養成するための講習会等を開催する。



【随意契約・再委託】

B.NPO法人ラグビーパーク
1件
0.9百万円

平日の放課後に中学生がラグビーを行えるラグビー教室(学外クラブ)を開催する、放課後ラグビープログラムモデル事業の運営を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(財)日本ラグビーフットボール協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	タグラグビーリーフレット及びタグラグビーガイド作成	4			
消耗品費	タグラグビーセット	4			
雑役務費	HP作成、ルール説明ビデオ作成	3			
再委託費	委託先:NPO邦人ラグビーパーク 指導者謝金、事務運営費、広告宣伝費	1			
その他	通信運搬費、人件費、借損料	1			
計		13	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本ラグビーフットボール協会	ラグビー等を通じた小中学校へのラグビー競技の普及啓発等	13	企画競争	—

B.放課後ラグビー教室の開催に関わる業務

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人ラグビーパーク	放課後ラグビー教室の開催(学外クラブ)に関わる業務	0.9	随意契約	—